

令和7年11月9日(日)樹木診断会 報告

場所:稲毛海岸三丁目団地管理組合法人

住所:美浜区稲毛海岸3-3
5階建て27棟、768戸、築年:1968年(昭和43年) 築57年

[1984\(昭和59\)年3月協定書104番\(PDF:46KB\)](#)
[区域図\(PDF:113KB\)](#)

希望するアドバイス内容:

高木の状態と今後の管理(さくらの延命対策)、果樹(うめ、かき)が安定して収穫できるための管理についてアドバイスをいただきたい。

樹木診断の流れ:

参加者は講師を含め約20名となり、予定した順番で団地内をまわった。巡回中適宜、樹木医大矢先生のアドバイスがあった。最後に集会所で総評と参加者の質疑応答が行われた。

なお、5年前の樹木診断会報告も、ご参照ください。 → [2020\(令和2\)年5月樹木診断会\(PDF:4.821KB\)](#)

総評: この団地は住民が植栽管理に参加し、よい環境を保っていることは高く評価できます。

桜は、土壌層が薄く地力の少ない海浜地区ではバランスのとれた大きさで管理した方がよく、樹齢100年もてばよい。切り口には殺菌塗布剤を塗るなど腐朽菌が入らないように対応してください。

松は、庭園風に管理するには費用がかかります。敷地内に10本ほどみられる幹の途中で切られた松は美観的な価値がないので伐採の検討をおすすめします。

果樹は、実がなり過ぎないように剪定するのがポイントです。この団地の柿の剪定は自然形を保つ剪定がなされており、業者の対応がよい。



窓からは柿の木が見える 集会所の様子

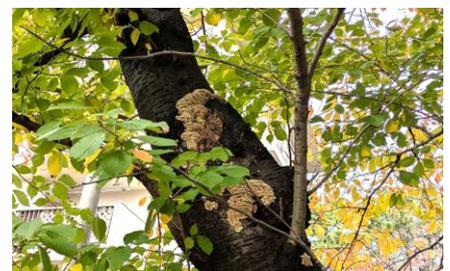


敷地内をまわる樹木診断会の様子 桜並木→



← 込み合っている。
(間引き推奨箇所)

キノコが生えている →
(腐朽菌が入っている)





柿: 自然形を保ったよい剪定がされている



ウメ



ナツミカン



姫リンゴ: 太い枝を切るとその場所から小枝が多数生えてくる



花壇: 花壇の会 (20名) で分担・管理運営されている



↑

先端部分が切られた「松」は美観的価値がない?



カイズカイブキは、綺麗に刈り込まれている



遊歩道沿いの椿:
強剪定され、すっきりした



植栽会 (26名) により低木の剪定、芝刈り、雑草処理をしておられる。 植栽会による剪定例→
ご参考: [稲毛海岸産三丁目団地の紹介\(PDF:70KB\)](#)